

■スパイク4WD芸達者クラス



54 島部 亨/ランサー
Best Lap/1'09.19
←1本目はライン取りに失敗しながら2番手につけていた島部サン。2本目はイン寄りでベストタイムを狙ったが、逆にタイムダウンしてしまった。

51 宇野 直哉/ランサー
Best Lap/1'10.69
→「競技に復帰したい」という気持ちでエントリーした宇野サン。走りの的には「あんなもんでしょう」と、ほぼ満足いく走りが出来たようだ。



52 山田 善之/ランサー
Best Lap/1'11.15
←「海外製に勝てるように走りたい」と、280本ピンのMT14で挑んだ山田サン。

55 青沼 達也/ランサー
Best Lap/1'11.66
→230本ピンのMT14で、「ピレリタイヤに5秒以内!」の目標を達成した青沼サン。



スパイク4WD芸達者



50 大平 邦夫/ランサー
Best Lap/1'08.14

←オートマ仕様のエボXでエントリーした大平サン。目標は「島部サンに5秒以上離れないように走る」との事だったが、「引き出しを全部使いました」という1本目での差は約5.5秒。しかし、「マイペースで走ります」と語った2本目に、いきなり1分8秒台前半のタイムを記録!見事、スパイク4WD芸達者クラスの冬番長に輝いた。

スパイク4WD芸達者3位



48 田辺 剛/インプレッサ
Best Lap/1'09.04

↑サーキット仕様のインプレッサにピレリの400本ピンを装着し、1本目にトップタイムを叩き出した田辺サン。2本目は惜しくもタイムアップ出来なかったが、本職の競技車両と肩を並べる走りを見せてくれた。



スパイク4WD芸達者2位



53 小林 茂則/ランサー
Best Lap/1'08.86

↑島部サンのランサーでWエントリーした小林サン。1本目は1分10秒台で4番手につけていたが、「大平サンが8秒台に入れたので、そのぐらいを狙いたい」と言った2本目に8秒台をマーク! 逆転にはならなかったが、見事クラス2位の座をゲットした。

